

平成 28 年度 京都府入札制度等検討委員会（第 2 回） 議事概要

開催日時及び場所	平成29年3月21日（火） 午後3時25分～5時00分 京都府職員福利厚生センター3階 第4会議室	
出席委員氏名（職業）	委員長 楠 <small>くすのき</small> 茂樹 <small>しげき</small> （上智大学法科大学院教授） 委員 川勝 <small>かわかつ</small> 健志 <small>たけし</small> （京都府立大学公共政策学部准教授） 委員 関根 <small>せきね</small> 英爾 <small>えいじ</small> （ジャーナリスト（元京都新聞論説委員）） 委員 常峰 <small>つねみね</small> 和子 <small>かずこ</small> （公認会計士） 委員 山下 <small>やました</small> 信子 <small>のぶこ</small> （弁護士）	
議 事 概 要	1 開会 [あいさつ（前田総務部副部長）] 2 議事 （1）平成28年度入札実施状況等について （2）平成29年度入札契約制度等の見直しについて （3）その他 ◇平成28年度入札実施状況や平成29年度入札契約制度等の見直しについて報告し、委員から意見を聴取した。 ◇予定価格事後公表試行対象工事の拡大、社会保険未加入対策の推進等について報告し、委員から意見を聴取した。 ◇各委員から出された意見を踏まえ、入札制度の情報収集や的確な運用に努めるとともに、今後とも継続して、入札制度の運用状況等について検証を行うこととした。	
委員からの意見・質問とそれに対する回答等	意見・質問	回 答 等
	別紙のとおり	別紙のとおり

別 紙

2 議事

(1) 平成28年度入札実施状況等について

意見・質問	回 答 等
◇事前公表を行うと予定価格が分かり、最低制限価格が予想し易いため、くじが発生しやすくなると理解できるが、事後公表でもくじ発生率が高いのはなぜか。	◇予定価格が事前公表であった平成21、22年度は、くじ発生率が高かったが、その後、事後公表の試行を開始したことに加え、工事の発注件数が多かったこと等が要因でくじ発生率は低くなった。平成26年以降、再びくじ発生率が上昇傾向に転じ、この1、2年でくじ発生率は更に高くなっている。これは、業者の積算能力の向上や、工事減少のため受注意欲が高まったことによるものと考えている。
◇くじ発生率の高まりは、比較的容易に予定価格が推測されているためという理解でよいか。	◇積算基準や資材単価、設計労務単価などは公表しており、見積単価についても事前に把握できるため、業者はかなりの精度で積算できていると考えている。
◇全国的にくじ発生率が問題となっているが、事前公表と事後公表のくじ発生率の状況はどうか。	◇全体的にくじ発生率は上昇しているが、事前公表のほうが、くじ発生率が高く、事後公表の方が低い傾向にある。
◇不調の発生率が低く、競争性があるように見えるが、一者入札の状況はどうか。	◇府内に発注する土木一式、建築一式工事では一者入札はほとんどない。これは、業者の数に対して工事発注件数が少なく、競争が激化しているためであり、一者入札は業者が限られている設備工事等で発生している。
◇事後公表の意義は一定の成果を上げていると理解できるが、くじ発生率については、災害など不測事態の影響もあることを考えると、事前と事後でどう変わるのかはもう少し様子を見ていくべき。	◇完成検査後に主任監督員、総括監督員、検査員の3者で工事成績評定をしている。評定点が低い点数であれば指名停止の可能性もあり、また、評定点が高い優秀な工事
◇工事終了後の評価は実施しているのか。	

<p>◇やむを得ず府外に発注した工事については、長期的な観点では、このような特殊な工事を担える業者の育成支援を視野に入れているのか、特殊なので府外発注もやむを得ないとするのか、今後の方向性についてどう考えているか。</p> <p>◇元請下請関係適性化実施状況調査について僅かであるが、未提出が増えているのは何故か。</p> <p>◇建設業者数の推移はどうなっているか。</p> <p>◇建設業者の適正数はどれくらいか。</p> <p>◇北部での災害復旧時の緊急性と競争性の関係や文化財の担い手不足等については、入札監視委員会でもいつも同じ議論になるため、分野別に緻密に検討した方がよいのではないか。</p>	<p>であれば総合評価競争入札で加点する等のインセンティブを付与する仕組みになっている。また、業者研修等でも、工事完成検査の結果をフィードバックしている。</p> <p>◇発注類型4の上下水道プラントの機械などの設備工事では、全国的な大手企業が参加しているが、府内の市場規模を考えると府内企業に限定し、府内企業を育成していくのは困難である。他の類型についても、同様の状況である。</p> <p>◇未提出のものはすべて工事中の案件であり、提出を指示したことから工事完成時点では資料は整っている。</p> <p>◇京都府内で建設業許可を保有している業者は約11,000社であり、ピーク時のH11年度約16,000社と比べると減少しているが、ここ数年は横ばい状態。国交省の取組により、国全体として業者数は減少してきたが、政策転換により地域のために一定数の業者が必要とされていることが要因の一つであると考えている。</p> <p>◇適正数がどの程度かは難しいところであるが、北部は業者数が減少しており、地域の維持管理業務が厳しい状況である。一方、南部地域は民間工事もあるため業者数は多い状況。全国的にも、それぞれの地域に対して適正な業者数はどれくらいか議論になっており、京都府としても適正な工事量・業者数はどれくらいかについて研究していきたい。</p>
---	--

(2) 平成 29 年度入札契約制度等の見直しについて

意見・質問	回 答 等
<p>◇国交省の取組において課される制裁金とは違約金と同義か。</p> <p>◇制裁金の使途は。</p> <p>◇制裁金の使途はコンプライアンスに係る業者指導等に活用してはどうかと思う。</p> <p>◇京都府公共調達検討委員会報告書には、「事前公表とは予定価格漏洩に関わる不正のリスクを解消することを府民に約束するもの」とあり、その後、事後公表を試行する際に、コンプライアンス確保に関する取組をされたが、府民にどれだけ情報を共有できているのか。</p> <p>◇社会保険の実態調査においては、加入の有無だけでなく、加入を義務付けた場合、経営にどのくらい影響があるのかについても調査されたい。</p> <p>◇社会保険未加入対策の対象には一人親方は入っていないのか。</p> <p>◇社会保険の実態が現在つかめていないとはどういうことか。</p>	<p>◇そのとおり。</p> <p>◇国では一般財源になる仕組みになっているとのことだが、京都府では未定である。</p> <p>◇コンプライアンス徹底のフィードバックとしては、京都府のホームページに庁内の調査結果をまとめて掲載している。</p> <p>◇一人親方については、保険加入義務等の確認が難しく、国では一人親方の働き方等について調査し、一人親方なのか、実質的には従業員なのか確認するようになってきている。府においても、実態調査や実際の運用をどうしていくか等について、今後模索していきたいと考えている。</p> <p>◇施工体系図には、社会保険の項目があり、加入しているか否かを確認し、未加入であれば元請けから指導している。また、入札参加資格においては、社会保険加入が要件となっており、入札には未加入業者が参加できないため、改めて現状をとりまとめるような調査までは行っていない。今後、取り組みの方針を検討するため、</p>

	未加入の業者数の集計やどのような業者が未加入なのか、などを把握していきたい。
--	--

(3) その他

意見・質問	回 答 等
◇全国的に低入札で契約した橋梁架設工事において相次いで事故が発生とあるが、これは京都府内だけでなく全国で発生しているということか。	◇具体的には、兵庫県の新名神工事での事故を指している。
◇平成28年11月から適用されているが、何らかの効果は出ているのか。	◇適用後は、低入札で契約した工事がゼロとなっている。
◇今回の改正は、特別重点調査制度に近付いている感がある。しかしながら、あまり厳しくしすぎると価格競争が働かない可能性もあり、様々な要素を勘案しながら検証されたい。	
◇今回の安全対策厳格化は、事故の検証を踏まえた上での対応ということか。	◇当該工事の発注者であるNEXCOの検証の結論は出ていないが、京都府の発注工事でも、低入札で落札した橋梁工事で、事故が起きている事例が2件あり、工事の技術者配置が不十分であったり、工事手順を飛ばすなど、低入札特有の事象があったため、今回の事故を機に制度を導入した。
◇京都府内で起こった2件の事故はどのような内容か。また、人的被害はどのようなものだったのか。	◇京都府道路公社の発注工事であり、2件とも作業中の安全管理を怠ったものである。人的被害は作業員の骨折とのこと。
◇今回の厳格化のきっかけになった新名神の事故を起こすと、どのくらいの指名停止になるのか。	◇府外で発生した事故については、2ヶ月の指名停止となる。なお、当該事故については原因調査中であり、まだ指名停止をしていない。
◇談合を行った場合指名停止が36ヶ月であり、死亡事故の指名停止が2、3ヶ月と	

<p>いうのはバランスに欠いているのではないか。国の方針などもあると思うが、今後その点についても総合的に検討されたい。</p>	
---	--